

東名高速道路

牧之原地区地震災害の復旧と類似盛土の緊急点検実施状況

1. はじめに

平成21年8月11日5時7分頃発生した駿河湾を震源とする地震により東名高速道路牧之原SA近くの盛土のり面が崩壊し、通行止めとなり、お客様をはじめ多くの皆様に多大なご不便、ご心配をお掛けしました。

被災した盛土のり面は、昨年秋から本復旧対策工事を進めているところであり、現時点での工事の進捗状況を報告するとともに、類似した盛土の緊急点検の実施状況についてお知らせします。

2. 本復旧対策工事の進捗状況

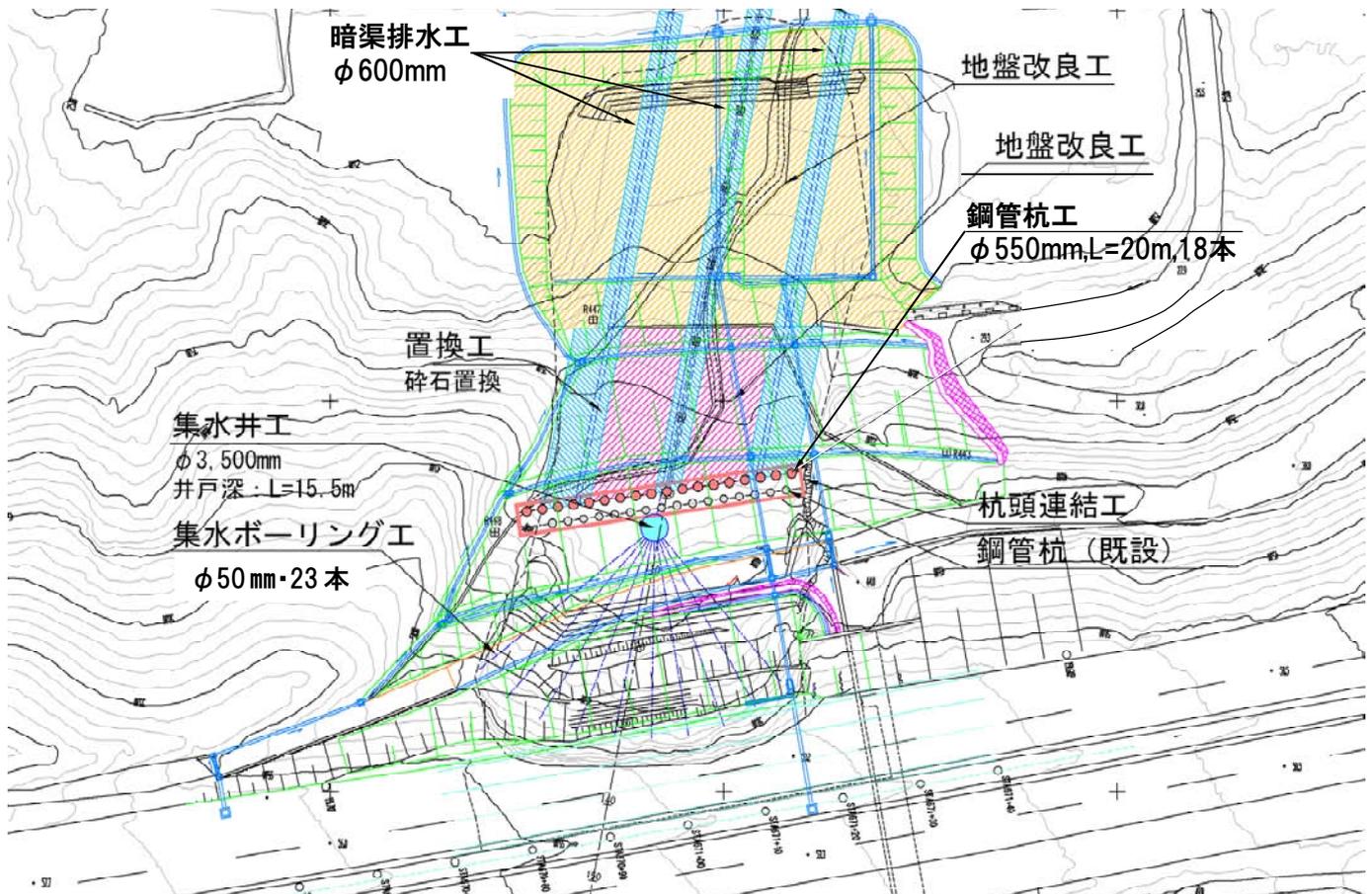
【本復旧対策工の基本方針】

- ①本線通行に重大な影響を及ぼさない施工方法とする。
- ②安全性を第一に、施工性・経済性等を総合的に考慮し決定する。

【進捗状況】

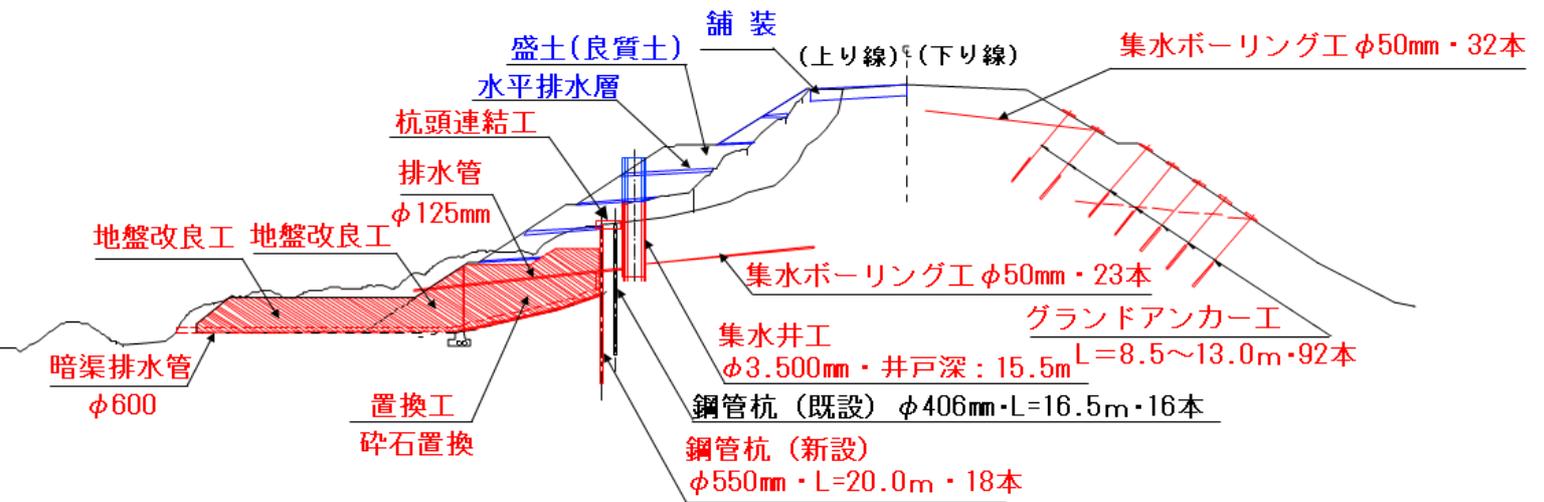
- ①平成22年梅雨入り前の工事完了を目標に鋭意工事中
- ②平成22年4月20日時点の進捗率 約70%

<対策工平面図（上り線）>



<対策工断面図>

〔凡例〕「赤」は完了または施工中の工種、「青」は未着工を示します



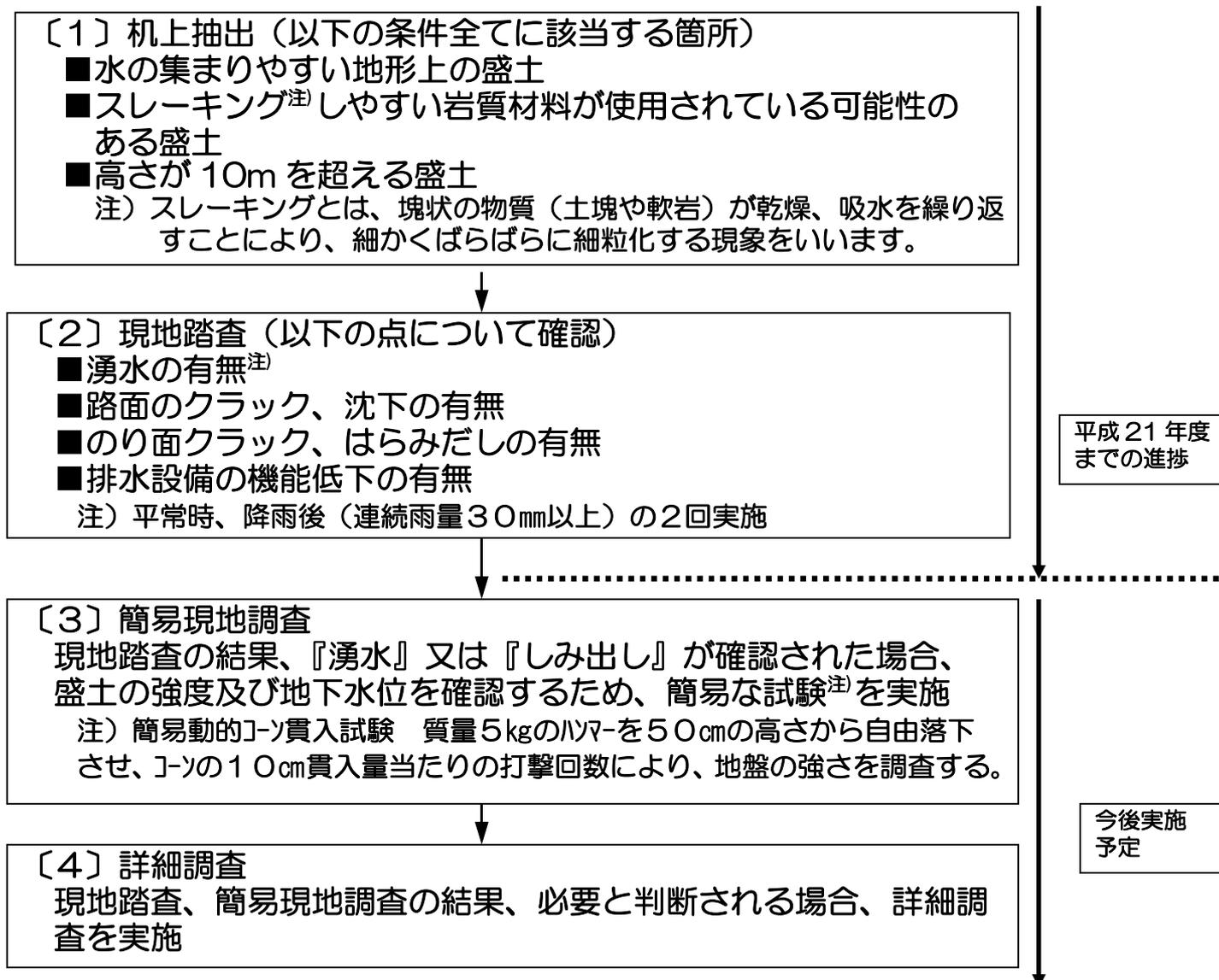
<復旧状況(上り線)>



<復旧状況(下り線・工事完了)>

3. 類似盛土箇所の緊急点検状況

1) 類似箇所の抽出、点検・調査の流れ



2) 現地踏査で確認された状況

- ①NEXCO中日本管内では、381箇所を机上抽出し、平成22年3月末までに、現地踏査（平常時、降雨後）を実施しました。
- ②現地踏査を実施したところ、すべりに伴う路面のクラック、沈下及びのり面のクラック、はらみ出しなど緊急的に対策が必要な箇所はありませんでした。
- ③排水設備については、緊急を要するものは補修済みです。

3) 今後の予定

現時点において、『湧水』、『しみ出し』が143箇所を確認されましたが、ただちに対策を必要とするものではありません。今後、簡易現地調査により、盛土の強度及び地下水位の確認を行い、必要に応じて更なる詳細調査を実施して対策の必要性を検討します。

以上

【参 考】

<点検・調査の道路別内訳>

道路名	現地踏査箇所数	湧水が確認され、今後簡易現地調査を実施する箇所
東名高速道路	86	31
小田原厚木道路	18	0
中央自動車道	136	54
名神高速道路	5	0
東名阪自動車道	24	10
伊勢自動車道	20	14
北陸自動車道	92	34
計	381	143

<現地踏査実施状況>

